

新春特集号 地域社会と共に歩む建設業界

コロナ禍、災害、不安の今こそ力を合わせて前進を!



第41号

発行日 令和3年1月1日
編集発行 富士宮建設業協同組合
事業広報委員会
印刷 フジ印刷(株)

信頼 協調 誠実

新年のご挨拶



富士宮建設業協同組合 理事長 小松建設 小松 實

新年あけましておめでとうございます。
組合員の皆様には、ご健勝にて新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は全世界を震えさせた新型コロナウイルスが、中国から全世界に広がり、世界中の人・物の流れが止まってしまいました。ヨーロッパでは一週間で1日4万人以上、アメリカでは1日14万人以上の感染者が確認されており、日本でも全体で12万人以上の人が感染しております。コロナウイルスに対して有効なワクチンが開発され、終結に向かうことが望まれます。世界中の人・物の流れの再開が経済の再生となるでしょう。その象徴として、東京オリンピックの開催があります。東京オリンピックが成功裏に終わることを願ってやみません。

また、菅政権が誕生しました。国土強靱化対策等の政策は継続していただき、台風等自然災害での被害が少なくなる様願いたいものです。
この10年を振り返ってみますと、平成23年の東北大地震から熊本地震、九州での台風被害など自然災害が続き、地球温暖化による環境への何か大きな変動が、現れてきているのではないかと不安でいっぱい。最近の気象変動だけでなく、東南海地震・富士山の噴火などの対応も考えておかなければなりません。
災害が起きた時、真先に現場に入るのが私達建設業者です。重機等を駆使して長年培ってきた技術を発揮し、被災箇所を1分1秒でも早く復旧させ、ライフラインを確保し、車輛等が通行出来る様にすることが、我々の使命ではないでしょうか。

球温暖化による環境への何か大きな変動が、現れてきているのではないかと不安でいっぱい。最近の気象変動だけでなく、東南海地震・富士山の噴火などの対応も考えておかなければなりません。
災害が起きた時、真先に現場に入るのが私達建設業者です。重機等を駆使して長年培ってきた技術を発揮し、被災箇所を1分1秒でも早く復旧させ、ライフラインを確保し、車輛等が通行出来る様にすることが、我々の使命ではないでしょうか。

富士宮市とは災害協定を結んでおり、私達も市民の期待に応えられる様、頑張っています。
発生の時は、組合員がどのように連絡網を取り、どのように対応するかを想定したこれまでに上るべく、訓練も必要になってくるかと思っております。
近年建設業の現場では、技術の進化において著しいものがあります。重機による機械掘削、法面整形などの土工事等で建設ICTが進み、丁張を掛けずに作業が行われています。杭打ち・貫の設定・下がりの測定は必要ないのです。ドローン或

新年のごあいさつ



富士宮市長 須藤 秀忠

新年あけましておめでとうございます。

富士宮建設業協同組合の皆様におかれましては、日頃から公共事業の円滑な推進をはじめ、本市の事業に多大なご協力をいただいております。また、皆様にとりまして、今年1年が健康で希望に満ちた素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。
さて、昨年、西日本と東日本の広い範囲で発生した活発な梅雨前線による豪雨は、「令和2年7月豪雨」と命名

され、日本各地に大きな被害をもたらしました。近年、我が国では毎年のように豪雨災害が発生しており、しかも1000年に1度といわれるような大規模災害が頻発しております。幸いにも本市においては大きな被害がなかったことは、災害への備えが十分であった結果であり、皆様の日頃からのご協力に感謝を申し上げます。自然災害はいつどこで発生するか予測がつかず、容赦なく襲い掛かってくることから、常に災害への備えをしていくことが必要であります。いざ災害が発生したときには、職員だけではその対応が難しい状況となるのが想定されるため、官民が一体となり、迅速な対応を図ることが重要であります。

選挙においては、皆様からの力強いご支援をいただき、初当選をさせていただきました。望月義夫代議士の意志を継承し、市議・県議を15年勤めた経験を生かし、皆様のご期待に応えられるよう努力して参る所存です。
さて、私は自民党では宏池会岸田派に所属し、衆議院では「国土交通委員会・決算行政監視委員会・法務委員会・災害対策特別委員会」に所属しております。
その中でも国土交通委員会の所属にしましては、衆議院の任期途中という事もあり、委員の空きがない状況でありましたが、望月

さらに、全世界で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症の蔓延は、私たちの生活様式を大きく一変させ、社会経済活動などに様々な影響を与えており、建設工事においても、工事の一時中止や「三つの密」回避など、様々な対策を講じることが求められております。建設業は、社会資本整備の担い手であると同時に、災害時には最前線で地域社会の安全・安心を担う「地域の守り手」として、その社会的使命を果たしていく必要があることから、今後におきましても、行政と力を合わせ、市民の安全安心のためにこのコロナ禍を乗り越えてまいりたいと考えております。
また、本市の公共事業につきましては、これまでに、学校給食センター、大富士交流

く国交省予算において、強い国土を形成するために国土強靱化予算を確保し、様々な事業に取り組んでまいりましたが、最近の日本における自然環境は地球温暖化の影響により、台風、豪雨、高潮等、巨大化、激甚化が進み、まだまだ国土強靱化が必要な状況です。これまで、ポスト国土強靱化対策を3年間でなく5年間で15兆円という目標で党内で同志と共に取り組んでまいりましたが、お陰様で12月1日に菅総理から5年間で15兆円を計画するよう指示が出ました。
これを元に、今後富士山の火山砂防対策の継続や河川の浚渫などの豪雨対策等、

年頭のごあいさつ

富士宮市議会議長 佐野 寿夫



新年あけましておめでとう
ございます。

富士宮建設業協同組合の皆様には、健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

皆様方には、日頃より組合員各位の結束と協力のもと、社会基盤の整備や社会貢献活動などを通して地域社会の発展と安心安全なまちづくりのために、大きな役割を果たして

いただいておりますことに厚く感謝を申し上げます。さて昨年は、世界中に猛威を振るい、瞬間に感染拡大した新型コロナウイルス感染症により、これまでの経済活動や生活様式までもが一変してまいりました。改めて人も自然の一部であることを知る機会となり、これからは、感染しにくい社会を目指して、ウイルスとの共存社会を作り上げていくことが必要であると思っております。

新年のごあいさつ

静岡県議會議員 木内 満



新年明けましておめでとう
ございます。令和3年の新しい年の始まりを心よりお慶び申し上げます。

富士宮建設業協同組合の組合員各位におかれましては、平素より円滑且つ正確で高品質な公共工事の推進はもとより、災害時の迅速な緊急工事や様々なボランティア活動への協力を通じて、安心して暮らせる富士宮市の実現に多大なるご貢献を頂いておりますことに、県政に携わるものとして、また一人の市民として心より感謝申し上げます。

昨年春から全世界的な流行は、多数の土砂崩れや川の氾濫等により多くの尊い命が犠牲になるとともに、貴重な財産が失われました。幸いにも富士宮市内では、大きな被害はありませんでしたが、近年頻発する激甚な災害は、気候変動の影響が顕在化しているものと考えられ、同様な災害はいつどこで起きるかわからない状況にあります。そのような災害の報道を見るたびに、あらためて私たちの暮らしを守り支えているインフラとその整備の大切さを強く実感しているところで

現在、富士宮市は、国が進める国民の生命と財産を守りぬくための防災・減災の考え方に基づいた国土強靱化を図るため、災害に強い都市整備を積極的に進め、活気にあふれた大きな影を落とすとしており、令和3年度の予算編成は大変に厳しいものになる見通しです。我々自民党、そして県議会の自民党会派であります自民改革会議におきましては、まず国に対し建設関係予算の昨年度並みの規模を維持すること、とりわけ国土強靱化の事業の継続を強く訴えてまいりました。県においても厳しい財政状況のなかでも昨年度並みの規模の建設関係予算を維持すべく全力をあげて取り組んでいる最中であり、私も昨年より「道路財源の確保を求め都道府県議会議員の会」の世話人を静岡県議会の代表として務めており、11月には全国の都道府県議会議員を代表して自民党二階幹事長、財務省、国土交通省に要望活動を行ってまいりました。こうした訴えを力強く、県に届けていくためにも、皆さまのお声を是非とも寄せ頂きますようお願いいたします。

安心安全なまちづくりに取り組んでいきます。こうした中、道路や河川をはじめとする公共事業と、それを担う地元を熟知した建設業に従事する皆様の存在は大変大きく、地域社会にとって不可欠な存在です。このようなことから、市議会といたしまして、貴組合からの要望等も踏まえ、市当局と連携し効果的な事業がしっかりと実施できるような努力をしてまいりたいと考えております。本年も皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

結び、建設業界の益々の発展と皆様方のご健勝とご活躍を心から祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

新年のごあいさつ

国土交通省中部地方整備局 富士砂防事務所長 加藤 仁志



新年明けましておめでとうございます。

富士宮建設業協同組合の皆様におかれましては、健やかに新しい年を迎えられたこと、心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より国土交通行政の推進にあたり、格別のご理解・ご協力を賜っております事に、あらためまして厚くお礼を申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大により、社会システムや私達の生活に大きな影響が及び、とりわけ経済活動が低迷する中で、社会全体に大きな変革が求められました。建設業界においても、建設機材に逼迫が見受けられたことや感染拡大防止のための工事等の一時中止措

新年のご挨拶

静岡県富士土木事務所長 青木 直己



新年明けましておめでとうございます。

富士宮建設業協同組合の皆様におかれましては、新年を健やかに迎えられることと心からお慶び申し上げます。また、日頃より、本県の社会資本整備の推進をはじめ、災害発生時の復旧活動など、地域の安全で安心な暮らしの実現に向けて多大なご協力をいただいておりますことに厚くお礼申し上げます。あわせて、昨年は、新型コロナウイルス感染症が拡大し、社会経済や県民生活に甚大な

影響が出ましたが、皆様には、細心の注意、予防対策を図りながら工事を継続して実施いただき深く敬意を表します。さて、今後のウイズコロナ・アフターコロナの時代においては、さらなる感染症拡大防止と社会経済活動の早期回復を図るとともに、持続可能な社会づくりが求められてまいります。これに向けて大きな課題の1つが、多様なリスクへの備えです。近年の気候変動の影響等により激甚化・頻発化する大規模自然災害に負けないよう、一層の県土強靱化を進めることは必要不可欠となっております。また、社会インフラの加速度的な老朽化や、多発する歩行者や自転車の事故などに対応するため、安全・安心への備えも重要となっております。

多数の土砂災害の発生があり、多くの災害復旧事業申請があると聞き及んでおります。被害に遭われた皆様には、衷心よりお見舞いを申し上げます。このような被災報告がある一方で、一定の施設整備・防災対策を着実に実施してきた地域・箇所においては、それらの施設が役目をしっかりと果たし、被災を免れたとの報告もあります。防災対策は、一朝一夕に出来上がるもの、着実に整備を進める「事前防災の有効性」が明らかになっております。

国や地方公共団体では、平成30年度補正予算より、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」を実施してまいりました。令和2年度は、この緊急対策最終年度となりましたが、まだまだ未完であるハード整備の重要性をしっかりと訴え、令和3年度以降においても必要な予算をしっかりと確保し、富士山からの土砂災害を防止し、地域の利便性向上

のみなならず、安心・安全がより一層図れる対応をしていかなければなりません。さて、富士山に関しては、平成16年6月に策定された火山噴火ハザードマップの改定作業が、静岡県等により進められ、令和2年度末・この3月末日の策定・公表を目標としています。何時噴火するか判らない富士山ですが、正しく備える事が重要です。その中において、ソフト対策である「住民一人一人の身を守る為の迅速な避難行動と共に、当事務所でも実施中のハード対策である「緊急減災対策を両輪として実施する事が必要と考えています。今後におきましても、「地元をよく知る、地域の建設業協同組合各位のお力添えを得ながら、着実に当事務所の事業を実施して参りたいと考えています。引き続きのご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。結びになりますが、富士宮建設業協同組合の今後益々の発展と、貴組合員皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

新年のごあいさつ

静岡県富士農林事務所長 杉山厚吉



新年明けましておめでとうございませう。富士宮建設業協同組合の皆様には、健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、平素から本県の農林行政に對しましては、ご理解と協力を賜り厚くお礼申し上げます。昨年を振り返れば、新型コロナウイルス感染症で、予期せぬ、そして今まで経験したことのない対応を強いられました。令和2年2月のクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」の感染患者の報道を皮切りに、3月には小中高

校等の臨時休校、4月7日には首都圏を中心に7都府県で「緊急事態宣言」発令、4月16日には、全都道府県で「緊急事態宣言」が発令されました。翌日、4月17日には静岡県知事から県民への外出自粛要請が出され、日常生活は一変、一時期、多くの方々が、買い物等の必要最小限の外出以外は家に閉じこもる、いわゆる「巣ごもり生活」を余儀なくされました。

「密閉」「密集」「密接」の3密回避という事で、「人と人の距離の確保」「マスクの着用」「手洗いなどの手指衛生」などの新しい生活様式の実践も必須となりました。「ステイホーム」「ソーシャルディスタンス」「クラスター」「テレワーク」「オンライン飲み会」などの聞き慣れない言葉も、

の中堰頭工の改修や、安居山用水及び田貫湖導水路の補修を昨年引き続き行います。また、大倉川農地防災ダムの管理・運用も行ってまいります。さらに、地域住民や企業との協働により優良な農地を守り、継承していきけるよう「ふじのくに美農里プロジェクト」や「社一村しずおか運動」などを促進してまいります。

森林部門では、林道天ヶ岳線のさらなる延伸や治山事業に取り組むとともに、森林（もり）づくり県民税を財源とした「森の力再生事業」などにより、荒廃森林を再生してまいりますので、皆様におかれましても農業農村整備事業、森林土木事業の円滑な実施に向けご協力をお願いします。

また、平素から富士宮市の水道事業及び下水道事業にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。さて、一昨年末から中国湖北省武漢市を発端に広がりはじめたとされる新型コロナウイルスが瞬く間に世界中に拡大し、人々はそのまでの生活を一変させら

れ、マスクの着用やソーシャルディスタンスの確保など、「新しい生活様式」を生活の一部に取り入れることになりました。思い起こしてみれば、1年前の元旦はとても穏やかな年明けで、3月11日に世界保健機関が「新型コロナウイルス感染症はパンデミックである」との判断を表明し、さらには4月7日に緊急事態宣言が発令されることとなるなど、誰も想像できなかったことと思います。

このような世界的に大変な最中ではありますが、富士宮市水道部は、水道事業と下水道事業という市民が生活していくうえで欠かすことのできないライフラインを所管し、水道事業では安心安全なおいしい水の安定供給に、下水道事業では公共下水道と合併処理浄化槽の普及によ

新年のごあいさつ

富士宮市水道部長 渡辺文英



新年あけましておめでとうございませう。富士宮建設業協同組合の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

また、平素から富士宮市の水道事業及び下水道事業にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。さて、一昨年末から中国湖北省武漢市を発端に広がりはじめたとされる新型コロナウイルスが瞬く間に世界中に拡大し、人々はそのまでの生活を一変させら

る快適な生活環境創出に努めております。現在の両事業の近況ですが、水道事業においては、内野取水場から北山浄水場までの導水管管布設事業をはじめとする老朽管布設事業などを実施しております。

私も富士宮市水道部は、市民の皆さまが不安を感じるのではない安心安全な市民生活の維持のため、水道事業及び下水道事業の安定した運営と経営に努めていく所存で、そのためには、富士宮建設業協同組合によるご支援とご協力が不可欠でありますので、今後ともよりいっそうのお力添えを賜りますよう、新年にあたり改めてお願い申し上げます。

新年のごあいさつ

富士宮市都市整備部長 滝川日出男



新年明けましておめでとうございませう。富士宮建設業協同組合の皆様には、健やかに新年を迎えられました事を心よりお喜び申し上げます。

また、平素より富士宮市の道路、河川、建築物等の公共事業や災害時対応等に多大なるご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大で危機感が薄れてきていると感じますが、コロナ禍においても地震・台風・異常気象の自然災害は容赦なく日本各地を襲います。昨年、6月が長雨となり線

11日に1日最多の700人超が感染、4月16日には政府が全国に「緊急事態宣言」を発令しました。一時は収束の兆しがあったものの休業要請等による日本経済の低迷から、コロナ対策と経済の両立の中、毎日、全国的に感染者が報告され、日常生活はコロナ禍における「新しい生活様式」が身につけてきたところでありませう。まだまだ、終息の兆しが見えませんが、今年、開催されるであろう「東京オリ

また、静岡県富士山世界遺産センター、富士山本宮浅間大社周辺につきましては、静岡県による富士宮富士公園線（登山道）の歩道整備が進められ、富士宮に訪れた観光客が安全に浅間大社周辺を散策できるものと考えています。

今後は、引き続き、富士山の庭園都市を目指し「清流の美」「空間の美」「庭園の美」をコンセプトとした整備を一刻も早く進めてまいりたいと考えております。

コロナ禍で益々、建設業界を取り巻く社会情勢は厳しい状況にありますが、今年も事業の実施にあたっては、組合員の皆様

の持てる技術力と経験を活かして頂くことを期待しております。今後とも、富士宮市のまちづくりに対して、ご支援ご協力をお願いするとともに、富士宮建設業協同組合のご発展と皆様のご繁栄を心よりお祈りし、新年のごあいさつとさせていただきます。

環境対策

土木・舗装委員会 副委員長 佐野藤建設(株) 藤元光



昨年、新型コロナウイルスが全世界を困惑させ、尚、未だに解決せず、恐怖に怯えています。この様な事は嘗てない事です。この100年間で、文化が進み、車は走り、冷暖房は完備され、食料の供給も十分に満たされ、世界の一般的な人々までもが海外旅行をする様になりました。

ところが、この豊かさの為に、地球環境が悪化しました。それがこの度のコロナウイルスの発生に繋がっています。乗り物については、自動車、又、飛行機を使う事によって

地球は、温暖化現象を引き起こしています。食料生産は農薬や除草剤を使い、益を求めた結果、土壌は著しく汚染され「昆虫」は、地球上から80%居なくなり、それを糧とした、蛙、トンボ、カマキリ等の自然界のバランスが崩れ、それに伴いスズメ等は激減しました。もしも、昆虫が居なくなったら、農産物は（野菜、果物・草）の生産は40%以下になります。この様に、人類は地球上のバランスを崩してしまいました。果たしてこれで良かったのでしょうか？

中国では、土壌に大量の農薬や消毒等を使用した為、ミミズが居なくなり、土壌の生態系が崩れました。そして、バクテリアの世界が、バランスを崩してしまい、自然界を壊し、悪質なコロナウイルスを、生んでしまいました。今、科学者達は、ワクチンを研究し開発に躍起となっておりますが、残念な事に、未だに誰も着目していませんが、これらを解決するには、土壌を自然界に戻すことです。それは、多種の細菌が共存、共栄する土壌に戻す事が、抜本的な解決策からです。抜本的な解決をしなければ、この様な事は、又、「必ず繰り返されます。」私はこれを警鐘します。

言いましたが、東南アジアの人は、暖かい国に生まれ、それに対応できる体になつているのにも関わらず、エアコンを23℃位で利かせています。一方では、甲子園でかき氷を食べ、

新年のごあいさつ

総務・金融委員会

委員長 河原崎建設(株) 河原崎 利光



新年明けましておめでとうございます。組合員並びに関係各位の皆様におかれましては、新年の幕開けを決意も新たに、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年降つてわいたように出現した「新型コロナウイルス」は、世界中に蔓延し私たちの暮らしを激変させました。コロナさえ無ければ、大きな災害もなく穏やかな年であったと思えますが、コロナによりいきなり窮地に立たされ、今もまだ戸惑い迷う日々を送る人は大勢居られます。

汗を流し応援している姿が見られますが、これこそ大切な事です。自然界では、マイナス70℃を超えて初めて発芽する種、火事によつて初めて発芽する種もある事切です。

切らなければならぬこととであり、その為には行政の力を借りなければ出来ない事もあります。

昨年11月厚生労働省が新型コロナウイルス感染拡大に関する解雇や雇止めが見込みを含め7万人以上になったと明らかにしました。IMF(国際通貨基金)試算によると今後6年間の世界経済損失は3000兆円にも上ると予測し、また静岡県においても当初予算について、経済状況の悪化などで350億円の財政不足になる見込みであると発表され益々厳しい財政状況になると思われますが、ここが踏ん張り時ではないでしょうか。

世界のトヨタ自動車も、100年に1度の大変革の時代と危機感をあらわにしました。1日も早いコロナの終息を願うばかりです。

を知つて頂きたいです。ここにヒントがあります。薬をする事は、人間が退化していくという事に、今こそ気づく事が大切ですが、

ですが、将来の投資として引き続き仕事を通じての育成をお願いしたいと思

が変わり毎日職場へ出勤しないので自宅で仕事ができるようになり、多くの人の意識が変わつてきたのではないのでしょうか。住宅業界では住まいのトレンドが変わりつつあるようです。住宅展示場では、宅配ボックス「非接触」での買い物、玄関を入ると、帰宅後すぐに手を洗えるよう洗面台設置・花粉やホコリを吸い取るパキウムクリーナー・リビング入口に自動ドア・センサー付き水栓や照明・仕事に集中できるワーキングスペースが提案されている住宅が目を集めています。また以前は都心志向が強かった若い世代で、郊外を選ぶ動きが広がっているようです。在宅勤務が増えることにより、週に1、2回通勤するのであれば、都心の通勤に便利な狭小住宅より、郊外で広い住宅に心が集まっているようです。

昨年誕生した、菅義偉内閣総理大臣が、行政の縦割り打破・規制改革を政策として掲げ始動しました。注視したいと思

る街づくりが必要ではないでしょうか。非常に厳しい財政状況でありますが、私共組合員の優れた技術力を生かし、社会に貢献していきたいと思

各位の、ご健勝とご多幸をお祈りいたします。組合員の皆様及び関係

員の優れた技術力を生かし、社会に貢献していきたいと思



三尾 祐一

新年のごあいさつ

建築安全委員会

委員長 (株)三与建設 三尾 祐一



新年明けましておめでとうございます。恒例と成りますが統計資料に基づいた分析を、新年のご挨拶に替えさせて頂きま

図1の説明

建設業許可業者数(以下単に業者数)は、建設業許可期間が3年から5年間に延長された関係で3年減少し2年増加する周期で変化しており(※1)、1番多かった平成12年3月末以降、業者数は一定の割合で減り続けてきたが、近年はほぼ横ばいとなっている。

表1の説明

全国では、表右端1サイクル5年の「期間内変化率」の推移を見れば解るが、前回の5年間の変化率▲7・85%と比べる

ただし前年度対比では4千社余り増えた。対して静岡県内では、本来増える年回りであるはずの平成27年から業者数を減らし、令和2年も本来増える年回りだが6年連続して減少している。

図1の「全国」と「静岡県」は縦軸マス目の単位は違えども、変化率の傾きが同じに成るように作成してあり、グラフの角度を見比べてもらいた

極端な傾向と成っている都道府県としてグラフの最上段に位置している秋田県は、全国一業者数が減少しており、1番多かった時に比べて33・61%減と、3分の2まで減少している。

図2の説明

このグラフは、都道府県別業者数ピーク時対比の減少率のデータを図表化したものだが、まずは静岡県に注目してもらいたい。平成20年を境に全国平均より急角度で業者数が増加し、平成22年にはグラフの1番下、つまりピーク時対比減少率で全国47位、言い方を

表2の説明

この表は対前年比減少率の都道府県順位を並べたものだが、静岡県は平成26年の28位から27年に全国2位、翌28年と29年

だが、近年、静岡県は加速度的に減少している。なぜ、静岡県だけが特殊な傾向を示しているのか皆さんの判断に任せるが、過去、愛知県と同じ様な傾向で有ったのが平成26年を境に二分しており、

逆

災害が多発している近年、防災や復旧の担い手として、また地域の次世代の建設業を担っていく為にも、組合員が一致団結し、生き残っていくしかない。

だが傾向は変わっていないので、来年には1番業者数が多かった数を超えるはず。

減少は止まりつつ有るの



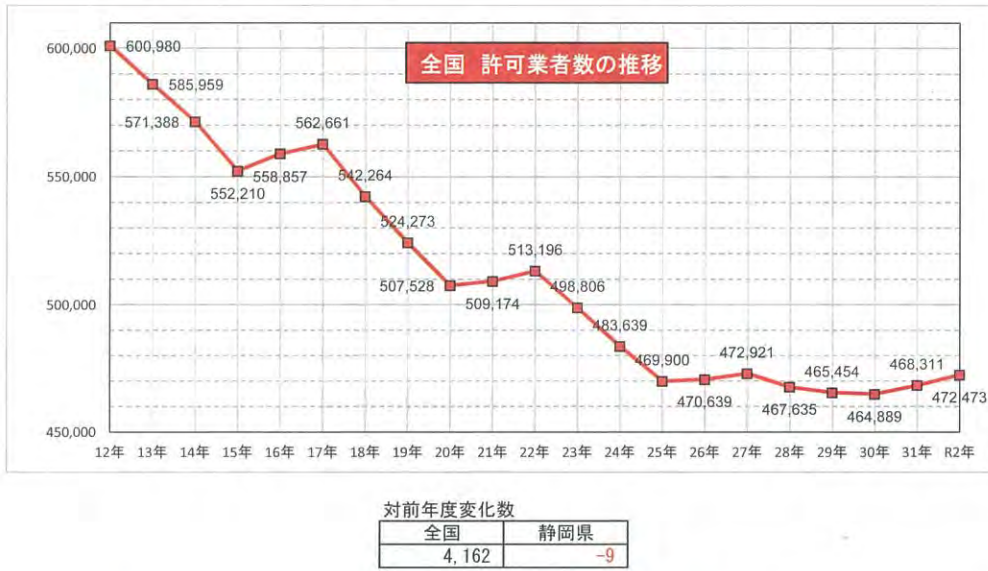
HARDWARE KANEKOH 富士宮の建築金物と工具のプロショップ 和泉屋カネコー

あなたを守る保険のパートナー AJ 三井住友海上 HGA 代理店 有限会社 エージェントうさみ

日本工業規格表示認証工場 エーユー生コン株式会社 代表取締役 加藤 英雄

県民の生命・財産を石材で守る 株式会社 後藤 代表 TEL.(0544)66-0165

(図-1) 建設業許可業者数の推移 (毎年3月末) ※平成12年が業者数最大値



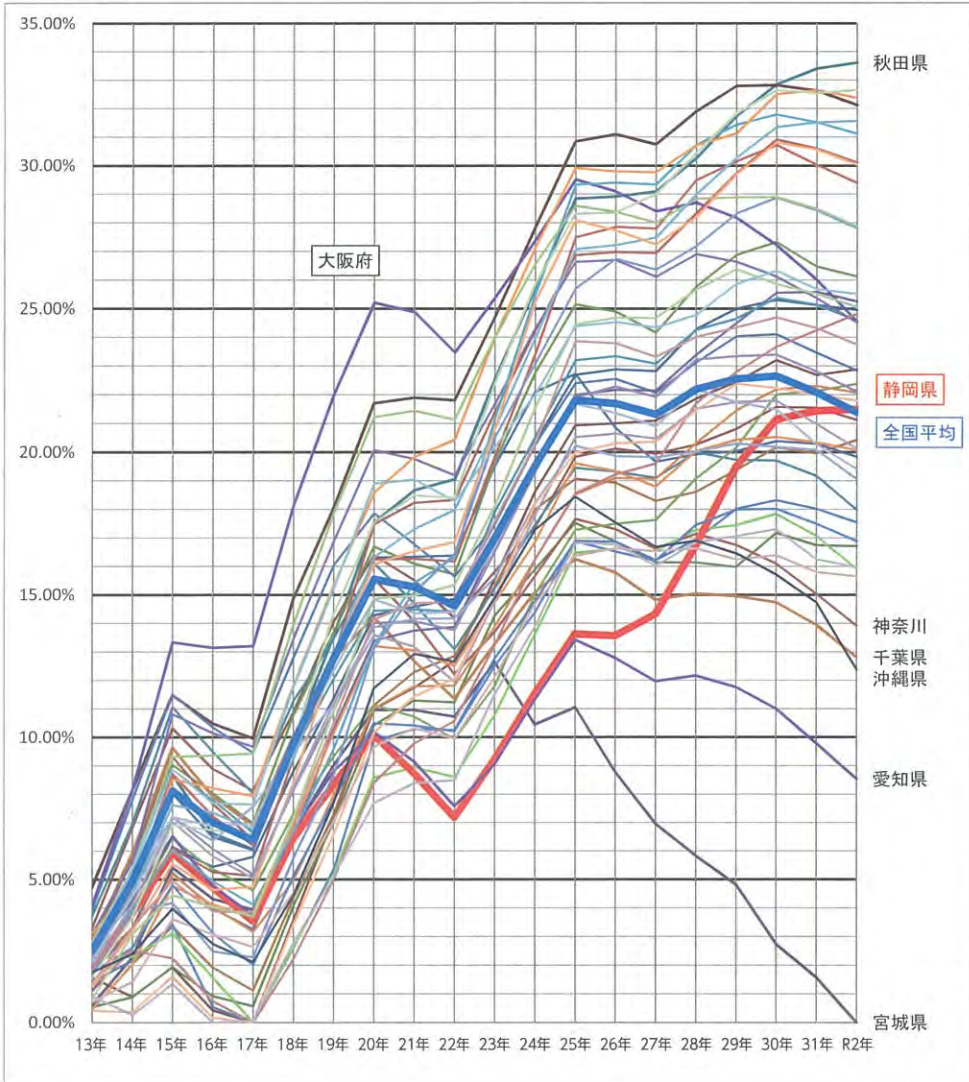
(表-1) 許可業者数の推移・前年比・期間内変化率

全国	業者数	前年比	期間内		期間内	
			平均値	最大比	平均値	最大比
平成12年	600,980					
平成13年	585,959	-2.50%		-2.50%		
平成14年	571,388	-2.49%		-4.92%		
平成15年	552,210	-3.36%	-2.78%	-8.12%	-8.12%	
平成16年	558,857	1.20%		-7.01%		
平成17年	562,661	0.68%	0.94%	-6.38%	1.89%	-6.38%
平成18年	542,264	-3.63%		-9.77%		
平成19年	524,273	-3.32%		-12.76%		
平成20年	507,528	-3.19%	-3.38%	-15.55%	-9.80%	
平成21年	509,174	0.32%		-15.28%		
平成22年	513,196	0.79%	0.56%	-14.61%	1.12%	-8.79%
平成23年	498,806	-2.80%		-17.00%		
平成24年	483,639	-3.04%		-19.52%		
平成25年	469,900	-2.84%	-2.90%	-21.81%	-8.44%	
平成26年	470,639	0.16%		-21.69%		
平成27年	472,921	0.48%	0.32%	-21.31%	0.64%	-7.85%
平成28年	467,635	-1.12%		-22.19%		
平成29年	465,454	-0.47%		-22.55%		
平成30年	464,889	-0.12%	-0.57%	-22.64%	-1.70%	
平成31年	468,311	0.61%		-22.08%		
令和2年	472,473	1.63%	1.12%	-21.38%	1.63%	-0.09%
4,162		対前年度増減				



静岡県	業者数	前年比	期間内		期間内	
			平均値	最大比	平均値	最大比
平成12年	17,477					
平成13年	17,140	-1.93%		-1.93%		
平成14年	16,809	-1.93%		-3.82%		
平成15年	16,439	-2.20%	-2.02%	-5.94%	-5.94%	
平成16年	16,653	1.30%		-4.71%		
平成17年	16,860	1.24%	1.27%	-3.53%	2.56%	-3.53%
平成18年	16,350	-3.02%		-6.45%		
平成19年	16,018	-2.03%		-8.35%		
平成20年	15,716	-1.89%	-2.31%	-10.08%	-6.79%	
平成21年	15,952	1.50%		-8.73%		
平成22年	16,222	1.69%	1.60%	-7.18%	3.22%	-3.78%
平成23年	15,865	-2.20%		-9.22%		
平成24年	15,463	-2.53%		-11.52%		
平成25年	15,095	-2.38%	-2.37%	-13.63%	-6.95%	
平成26年	15,106	0.07%		-13.57%		
平成27年	14,972	-0.89%	-0.41%	-14.33%	-0.81%	-7.71%
平成28年	14,552	-2.81%		-16.74%		
平成29年	14,070	-3.31%		-19.49%		
平成30年	13,782	-2.05%	-2.72%	-21.14%	-7.95%	
平成31年	13,730	-2.42%		-21.44%		
令和2年	13,721	-0.44%	-1.43%	-21.49%	-0.44%	-8.36%
-9		対前年度増減				

(図-2) 都道府県別 業者数ピーク時対比の減少率の推移



(表-2) 対前年比減少率の都道府県別順位

順位	ピーク対比減少率 令和2年3月末	対前年比 減少率順位											
		25年	26年	27年	28年	29年	30年	31年	2年				
1	秋田県 33.61%												
2	宮崎県 32.65%												
3	和歌山 32.36%												
4	群馬県 32.12%												
5	山口県 31.56%												
6	奈良県 31.11%												
7	長野県 30.10%												
8	徳島県 30.04%												
9	京都府 29.39%												
10	岡山県 27.86%												
11	鳥取県 27.81%												
12	栃木県 26.12%												
13	佐賀県 25.52%												
14	富山県 25.25%												
15	高知県 25.06%												
16	北海道 24.96%												
17	島根県 24.82%												
18	石川県 24.60%												
19	大阪府 24.55%												
20	兵庫県 24.52%												
21	愛媛県 23.75%												
22	青森県 22.88%												
23	東京都 22.83%												
24	新潟県 22.39%												
25	広島県 22.11%												
26	福井県 22.07%												
27	長崎県 21.79%												
28	静岡県 21.49%												
29	茨城県 21.12%												
30	山形県 20.42%												
31	福岡県 20.12%												
32	三重県 20.07%												
33	福島県 19.83%												
34	熊本県 19.41%												
35	香川県 19.05%												
36	埼玉県 17.98%												
37	山梨県 17.55%												
38	滋賀県 16.88%												
39	岩手県 16.71%												
40	鹿児島 15.97%												
41	岐阜県 15.91%												
42	大分県 15.64%												
43	神奈川 13.91%												
44	千葉県 12.81%												
45	沖縄県 12.38%												
46	愛知県 8.53%												
47	宮城県 0.00%												
	全国平均 21.38%												

市への要望書提出

富士宮市長 須藤秀忠様
富士宮市議会議員 佐野寿夫様

要望書

拝啓 日頃より、富士宮市政発展のため多大なるご尽力をなされ、心より敬意を表します。また、富士宮建設業協同組合に対しましては、ご指導、ご鞭撻を賜わるとともに、公共事業関係予算の確保につきましても、平素よりご尽力いただいていることに対し、衷心より厚くお礼申し上げる次第であります。

さて、近年激甚化している地震や大雨などの自然災害に対する防災・減災対策の推進や、高度経済成長期に整備が進められた社会インフラの老朽化対策、さらには年明けから世界的に猛威を振るっている新型コロナウイルスが社会や経済に様々な影響を与えるなか、ポスト・コロナの時代を見据えた新たな国土づくりへの取り組みなど、人々が安全・安心に暮らせる社会づくりの中心的役割を果たす産業として、建設業には大きな期待が寄せられています。

しかしながら、一方では担い手の確保・育成や生産性の向上、働き方改革など、地域建設業にとって克服すべき課題は山積しており、これらの解決に向けては、引き続き積極的な取り組みが求められています。

令和2年度政府当初予算において、公共事業関係費は国全体で6兆669億円（前年度比0.1%増）が確保されました。しかしながら、オリンピック・パラリンピックが延期されたものの、今後も大きな需要が見込まれる首都圏と多くの地方との地域間格差はいまだに改善されていません。更には、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大の影響など建設業を取り巻く環境は、決して穏やかとは言えず、特に地域建設業は、依然として先行きが不透明な状況にあります。

このような状況の中、我々建設業協同組合は「社会に奉仕する建設業」を目指し、地域インフラの安定的な整備・維持管理、防災・減災を柱として活動する「地域の守り手」として、また地域の安全・安心を確保する「公的な任務の担い手」として課せられた社会的使命を今後も継続して果たしていかなければなりません。そのためには、地域建設業の健全で安定した経営基盤の構築が必要ですが、将来の担い手の確保・育成という最大の課題を抱えることで、前途多難であると言わざるを得ません。これらのことを踏まえ、若者が将来を託すことが出来る「魅力ある建設業」として持続的な発展ができるよう、公共事業の安定的・継続的な確保と、より一層の予算の拡大をお願い申し上げます。

これからも我々組合員一同、日々研鑽を積みながら、組合訓であります「信頼・協調・誠実」は

9月11日(金)に組合理事長、副理事長は、市役所を訪問し、公共工事の発注について、入札不調対策として、入札参加要件に発注区域内に事務所のある地域要件を設けることと、予定価格5000万円を超える土木一式工事に係る大型工事についての発注は、経営規模が安定し高度な現場管理を有し、地元の対応能力や信頼性に優れた、総合評定値800点以上の事業者あるいは特A等のランク付による制限付き一般競争入札とする2項目についての要望書を、須藤秀忠市長及び佐野寿夫市議会議員に提出いたしました。



域間格差や企業間格差が拡大し、地域の社会資本整備や維持管理・災害対応を担う地域建設業は、依然として厳しい経営環境下にあり、近年頻発に発生している自然災害などへの防災・減災対策や、働き方改革を推進させるには、まずは地域建設業の安定した事業経営を確立する

ことが必須であるとの考えを伝え、市のご理解とご協力をお願いしました。
10月12日(月)、市役所契約管理課長、契約係長、工事検査課長、検査係長が来館し、組合理事長、副理事長に対し、要望書の回答内容を説明していただくと同様に、意見交換をおこないました。

基より、新3Kと呼ばれています「協力・感動・貢献」を合言葉に建設産業をアピールし、災害時には行政と共に迅速に対応できる、強固な体制づくりを目指してまいります。そのためにも、組合員の育成強化に更なるお力添えを賜りたく、下記事項についてご要望いたしますと共に、貴職の益々のご活躍を心よりご祈念申し上げます。

敬具

記

要望事項1

現在、富士宮市の建設工事の発注方式は、公募型指名競争入札及び制限付き一般競争入札が大部分ですが、建設事業の入札執行状況をみますと、平成30年度23.4%、令和元年度は22.1%と約1/4が不調や中止になっています。これは、地域性を考慮せずに発注してきたことが、要因の一つとして挙げられると推測いたします。もし、地元事業者が施工することになれば、地元精通し、地元への貢献度を考え、よりきめ細やかな住民サービスに対する地域住民の安心感が得られることにより、受注者の安全管理や品質確保に対するインセンティブは高まります。その結果不調の

入札は軽減され、再入札や再々入札が防止され、年度内の完成が図られると考えられるため、入札参加要件に発注場所区域内に事業所のある地域要件を設けていただくことを要望いたします。

要望事項2

毎年要望をさせていただいていますが、令和2年度の土木Aランク事業者は一昨年とより4社増え、40社（総合評定値730点以上）となり、そのうち800点以上の事業者が22社おります。そこで、予定価格が5,000万円を超える大型工事の土木一式工事の発注は、経営規模が安定し技術者も数多く、安全管理や下請け業者を含めた高度な現場管理を有し、地元の対応能力や信頼性に優れている総合評定値800点以上の事業者、或いは、特Aなどのランク付けによる制限付き一般競争入札を要望いたします。

令和2年9月11日

富士宮建設業協同組合
理事長 小松 實

日本工業規格認証取得工場
コンクリート用砕石及び砕砂



本社/〒419-0315 静岡県富士宮市長貴699-1
TEL (0544) 65-1000代
南部工場/〒409-2303 山梨県南巨摩郡南部町十島2450
TEL (0556) 67-3201代

太陽建機レンタル株式会社



富士宮支店

静岡県富士宮市西小泉町23-1
TEL: 0544-26-5011
FAX: 0544-28-0102

田口建材株式会社



代表取締役 田口 敏寛

事務所 静岡県富士宮市村山269-1
TEL (0544) 23-6262~3
FAX (0544) 27-1020

「未来を切り拓く技術」とともに「安全」と「安心」をお届けする

株式会社 富士宇部
代表取締役 宮地 隆次

〒421-3304 静岡県富士市木島258番地
(富士工場)TEL. 0545-56-0030 Fax. 0545-56-2801
(工事部)TEL. 0545-56-0032 Fax. 0545-56-2800
(本社)TEL. 0545-56-0033 Fax. 0545-56-2800

女性部活動

女性部会会長 小松建設 小松みさを

令和3年の幕開けを心からお慶び申し上げます。常日頃から女性部会の様々な活動に對しまして、組合員の皆様にはご協力をいただき、心より感謝を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症という見えない敵と、世界中で戦いが繰り広げられた1年でした。横浜港沖に停泊中の「ダイヤモンド・プリンセス号」から、次々と下船し病院へ向かう人々の様子が連日報道されていましたが、その時点では、その後どんなことが起きるかなんて、誰一人として予想できる方はいなかったと思います。

甲子園・結婚式・団体中止、そして東京オリンピックの延期と全てが一変してしまいました。一生に一度のセレモニーが出来なくなりました。上に、生活そのものも制限だらけになり、その怒りを何処にもぶつけることが出来ず、最終的には弱いものへと向けられることになりました。家庭内DVは勿論増加し、社会でのパワハラ、事件へと連鎖していきました。

「アパノマスク」と揶揄されたマスク事情もこの1年間で大きく様変わりいたしました。昨年の2月頃だったでしょうか、店頭からマスクがいつせいに消えて買えることが出来ず、ネット上では使い捨てマスク（いわゆる不織布のマ

スク）が一枚100円前後で取引され、仕方なく購入された方もおりました。自分で布マスクを作成した方も多かったです。夏には、各メーカーがこぞってマスクを作成して、販売を手掛始めました。某社のエアリズムのマスクを買おうと、長蛇の列が出来たことは有名な話です。有名ブランドも参入し、ロゴの入った一枚数千円のマスクも販売されるようになり、今では、使い捨てマスクなどは簡単に通常価格で購入できる様になり、リース付きや刺繍入り、更には無地のマスクに自分でカスタマイズして、オンラインワンのお洒落アイテムとして楽しんでる方も少なくありません。

新型コロナウイルス感染においてアピガンとレムデシビルは、治療薬として使用されてはいますが特効薬とまではいえない様です。インフルエンザの特効薬、いわゆるタミフルやインゼンザのような薬が1日でも早く開発許可されて、使用できるようになればと祈るばかりです。今一番懸念しているのは、感染経験者や医療従事者、またその家族に対する偏見や風評被害です。特に医療従事者である看護師さんに対する扱いです。自分自身も感染の大きなリスクを背負い、一生懸命に患者さんを看護し、頑張ってきたんです。命を救う最前線の大きな力です。恐らく、寝る間も惜しんで食事時間も削

り、看護にあたっておられることでしょうか。ふと目にとめたテレビで「新型コロナウイルスで亡くなった患者さんに、最後の奉仕である患者さんの体を奇麗に拭いてあげる」ことが出来なくて、申し訳ないです。と語っていた看護師さんがおられました。涙が出そうでした。巷で賑わっているGOTOには参加もできず、そればかりか、責任感の強い方は職業的に考えて、観光・外食・宴会なんて我慢しなければと考えているのではないのでしょうか。ストレス発散の機会が狭まっていて、精神的に追い詰められていないか心配になってしまいます。

うと思います。コロナを引きずりながらの新年の幕開けとなってしまいました。悲観せずまた楽観視もせず、年末には様々な難題が解決されて、今年は無事に1年送れてよかったと言える様な年になればと思います。組合員の皆様、また関係各位におかれましては、更なる飛躍の年となります様、心からお祈りしています。

☆ボランティア活動 古紙売却

令和2年11月17日(火) 組合倉庫にストックしてあった新聞紙・雑誌・雑がみ・段ボール・アルミ缶・牛乳パックを、古紙回収業者に売却を行いました。古紙リサイクル活動は平成6年から始め、今回で23回目となりました。開始した平成6年には、5月と12月の2回の売却を行っており、それからは平成22年まで年1回のペースで行い、平成23年からは、2、3年に1度の頻度で現在まで至っています。

一昨年の令和元年から「雑がみ」の回収が始まりました。これまで新聞紙や雑誌で出せなかった紙、お菓子の空き箱やトイレトペーパーの芯等々の幅広い種類の紙が回収できることになりました。捨てるのは手間がかかることも知られておりましたが、リサイクルすることで大切な資源となるのです。さらに、細かく分別することによって、焼却炉の寿命を長持ちさせることもできます。分別するのは手間がかかることも知られておりましたが、利益を考えたとしても、環境を考えたとしても、貴重な財産の一部になり、これからの若い世代が安心して生活できる様な環境を作っていくのも、現世の使命ではないかと考えます。今後も引き続き行ってまいりますので、



できるようなりました。今回、古紙（新聞紙・雑誌・段ボール）は1kg当り、5円で売却し、アルミ缶は1kg当り40円です。前回の令和元年5月時点では、古紙が1kg10円でしたので、半値になった事になります。アルミ缶に関しては、前回1kg50円でしたので10円値下がりしてしまいました。雑がみは、1kg当り3円から2円になりました。

特養・花植え

令和2年12月4日(金) 富士宮市星山にあります特別養護老人ホーム「星の郷」を訪ね、パンジーやガーデンスクランメンを植えたプランターなどを、特養玄関横とデイサービス玄関横に、さらに寄せ植えをした鉢2つを特養玄関先に設置しました。

今回は、花を花壇に植えるのではなく、プランターに植えてそれを設置するという初めての試みでした。9月にボランティアのお話をした段階では、芝生が植えてあるところを花壇にしたいとお話で、計測を行ったところ、縦1.5m横6mの大きさで、花壇の花植えプランを立てさせていただきました。その後の10月には、花を植える場所の変更の申し出があり、今後作成する

ものも含め4ヶ所の花壇に花を植えていた。ご要望をいただき、プランの立て直しを余儀なくされることになりました。さらに、花壇の花の管理をされる方とお会いしたところ、これから芝生を抜いて花壇に変更することや、組合で花を植えた後の花壇の管理など大変さを口にされました。1度花壇として使用しますと、その後も何らかのものを植えたりと手を掛けない限りはなりません。組合で花を植えたことで、それが負担になってしまいます。当初のボランティアの意味がなくなってしまう。そこで、現状の芝生のままでプランターを置くだけでしたら、

せせらぎ広場・花植え

当日は、10名の参加者が「せせらぎ広場」において、プランター1大10ヶと小24ヶ、鉢4ヶと小9ヶに黄色と紫色のパンジーを87鉢・ガーデンスクランメン12鉢を植込みました。そして寄せ植えには、黄緑色に輝くゴールドクレストを中心に、ミニスクランメン・アリッサム・南天・金魚草などを植えて赤・白・黄など、まさに宝石箱の様に美しい夢の詰まった鉢に仕上がりました。クリスマスを過ぎて新年を迎え、その後も長い間、「星の郷」を訪ねられる多くの方々の目を惹かせ、心に安らぎを与えてくれたらなと祈っています。プランターの数ももう少し増やしたほうが、華やかになって良かったのかもと思いつつも、撤去のことを考えますと複雑な思いが交錯しています。

今回の令和2年12月4日(金) 今回で3回目になりましたが、富士山世界遺産センター



花が咲き終わった時点でプランターを撤去するだけで済みますので、どうしようと思案をしたところ、快諾を得ることが出来ました。

「高原荘」「百恵の郷」「外神陽光園」と続き第7弾となりましたが、市内10カ所の特養を一巡するにはまだ3年掛かることになりました。各施設におかれましては、それぞれ規模も異なり運営方法・考え方も違います。ニーズになるべく答えつつ、喜んでいただけ様に、努めてまいります。今後も継続して活動を行ってまいりたいと思っておりますので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

せせらぎ広場・花植え 令和2年12月4日(金) 今回で3回目になりましたが、富士山世界遺産センター



「せせらぎ広場」の花壇に花の植替えを行いました。北東にあります「せせらぎ広場」の花壇に花の植替えを行いました。

昨年5月に富士宮市観光課へ照会をして、一昨年同様11月頃に、今回も花植えをボランティアで行わせていただきたいとの組合の意向をお伝えし、了解を得ました。9月に入って、花壇の手入れを請負っています造園会社と直接相談をしたところ、少し手違いがありました。12月の頭に植替えが出来ることになりました。9月の時点でベゴニアが植えてありましたが、10月にピオラ・パンジーに植替えすることでした。組合で植替えを予定しています12月には、まだまだ元気に咲いている花が殆どだと思われ、直前まで花の様子を見ようということになりました。11月中旬になり、現場の花の様子は、予想通りに9割がたは元気に咲き誇っていました。全てを植替えするとすると、今咲いている花を抜き、処分することになってしまいました。現在花壇に植えてあるのは、パンジーとピオラですので、次の年の3月頃までは十分に咲き続けると思われます。いろいろな方法を模索した結果、花をそのまま使わせてもらい、アレンジしたらどうか

この結論に達しました。それにはまず、現在花を植えておられます担当の赤池造園様に許可をいただかなければなりません。本来ならば、組合で花を用意して植替えするべきなので、迷いはありましたが、赤池造園様にお話をしたところ、快く聞き入れてくださいました。10月の時点で、12月3日までに花壇の解体を依頼しており、組合側としては大変心苦しい思いでしたが、お花が可哀想なので何とかしたい。そこは、花が好きなので、まずは、花が好きな方なら理解をしていただけたらいいなと、即答していただき、とても感謝しております。

今回は、これまでと大きく違う点がありました。それは、何も無い整地した花壇に花を植えるのではなく、目の前の花壇には、花が植えてあるということ。その花を一度抜き取り、再度アレンジして植えていく作業となりました。先ずは、白色のピオラが植えてあり、まず一部だけを残し、花をいったん全部抜き取り、スコップや移植



用させてもらいました。建設廃材を利用することで、建設業色を少し取り入れることが出来ました。花壇の位置をおまかに決めて、中央にはこちらで購入しました紫の葉牡丹と黄色のパンジーを植えて、その周りには、抜き取った赤いピオラさらに白や淡い紫のピオラを幾重にも重ねて植えていきました。当初予定していたサイズの花壇がだんだん膨らんで、大きな丸の華麗な花壇に仕上がっていきました。最後に「せせらぎ広場」の電のひげが真っ赤なミニクラメンを包み込んでいるかわいらしい植込みや、緑のアイビーをアクセントに植えて完成です。

今回の「せせらぎ広場」の花壇の植替え時には、修学旅行生や一般の旅行者の団体の方が、いつもよりも大勢来られていたように感じました。花壇横を通りながら「あつ、富士山だ。」「キレイに植替え替えてくれて、ありがとございます。」「頑張ってください。」「など、心温まる言葉をいっぱいいただき、嬉しく感じました。新型コロナウイルス感染症拡大のため、世の中が荒んでしまい、体だけではなく心も病んできそうなのを、花に限らず何かを愛でることで、少しでも心が和らいでくれればと切に願っています。「せせらぎ広場」においても、ここを訪れて、この花壇を覗いただけで、ホッと一息つくだけでも構いませんので、そんな心の余裕を作っていたらと思うています。

「せせらぎ広場」は、会員8名の皆様の参加協力を得て、ベゴニア372本・ポーチユラカ372本、そして、これまで植えていたサルビアの代わりに、コリウスという葉の色を長い間楽しめる植物を134本植えました。新型コロナウイルス感染拡大防止のために、全員マスク着用での作業となりました。屋外での作業ですが、暑い最中でのマスク着用は、体に負担がかかりますので、大変だったと思

ます。これからもご協力を賜ります様よろしくお願いいたします。

支援学校・花植え
令和2年6月24日(水)
12月14日(月)

県道414号線沿い富士宮北高付近の「植えやす」事業の花苗(夏花・冬花)の植替え作業に、それぞれ参加協力いたしました。これは、富士宮市環境部花と緑と水の課が、県立富士宮北高等学校及び県立特別支援学校富士宮分校へ依頼し、年2回学校の生徒さんが植替え作業を行っている事業です。女性部では毎回、支援学校の生徒さんが授業の一環として行う花植え作業のお手伝いを行っております。



います。熱中症が心配されましたが、無事作業を終えることが出来ました。支援学校の生徒さんともマスキングでの作業となり、いつもよりも厳しい暑さになったと思われま

タオル寄贈
令和2年12月11日(金)
組合員の皆さまから寄せいただいたきまぐら富士宮市に寄贈致しました。当日は、小林博之保健福祉部長に富士宮市における福祉の現状についての話の伺いでしたが、市内においても、新型コロナウイルス感染者が50人近く出ていることから、いつも以上に神経を使われておられるようでした。職員の皆様

継続は力なりといいますが、一個人では難しいことも組合という団体組織であったからこそ、続けてくることが出来たと思っております。とても誇りに思います。皆様のご協力に心から感謝を申し上げます。今後も引き続き活動して参りますので、更なるご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成5年から始めたこの活動は、今回で28回目となりました。組合員の皆様のご協力の賜物です。現在は、花植えのボランティア活動として「せせらぎ広場」花壇・特別養護老人ホーム・支援学校横の花壇(夏・冬)と年4回行っていますが、すべて平成26年以降に始めてきたもので、「タオル寄贈」は、ボランティア活動の原点に値します。会員の皆様は、代が変わり2代目3代目社長夫人や事務職員さんや代理として、様々な活動にご参加いただいています。年代も20代から70代と幅広い層をなしておりますが、日ごろお世話になっております市民の皆様へ恩返しをしたいという気持ちは同じです。



◎資源を大切にしよう
建設廃材中間処分(県)認可第2221002450号
再生砕石販売

富士宮建廃協同組合

静岡県 富士宮市 山宮 961-10
事務所 TEL (0544) 58-4785
プラント TEL (0544) 58-4072

子供の頃のような、あふれる想像力で...
あなたのこころをカタチにします。

MIND CREATION~こころをカタチに~

前田道路株式会社 富士合材工場

〒417-0846 静岡県富士市今井 434-1
TEL (0545) 33-0627 FAX (0545) 33-0630
合材・常温合材・路盤材・乳剤販売 AS塊・CO塊受入

建設、土木資材、CO・ASガラ・土工事請負

丸工砂利販売(株)

〒418-0036 静岡県富士宮市沼久保398番地
TEL:0544-27-2097 FAX:0544-23-3761
http://www4.tokai.or.jp/marue/

重機土木工事一式・各種骨材販売
解体工事・建設廃材収集運搬

静岡県(般)63-第23160号 (県)第9201045463号

株式会社 丸喜建材

富士宮市 山宮 961-10
TEL (0544) 58-2154
FAX (0544) 58-6385

優良工事表彰者

国、静岡県、富士宮市等の公共団体より、工事の品質・出来形・安全管理、創意工夫及び地域貢献度等に対し、成績優秀で、他の模範となる工事として2020年に表彰された皆様を紹介します。

(株)小松建設

国土交通省中部地方整備局 優良工事表彰

平成30年度

富士山風祭上流遊砂地工事

代表取締役	小松	實
現場代理人	小松	奈央
監理技術者	工藤	悟樹



国土交通省中部地方整備局 優良技術者表彰

平成30年度

富士山風祭上流遊砂地工事

代表取締役	小松	實
現場代理人	小松	奈央
監理技術者	工藤	悟樹



公益社団法人 静岡県山林協会長表彰

平成30年度

治山(奥地保安林)坂ノ沢工事

代表取締役	小松	實
現場代理人	木内	政彦
主任技術者	木内	政彦



国土交通省中部地方整備局 富士砂防事務所長表彰 優秀賞

論文名：富士山大久保沢工事用道路工事における安全対策について

現場代理人	小松	奈央
-------	----	----



佐野藤建設(株)

林野庁長官表彰

北郷地区(角取山1)復旧治山工事

代表取締役	後藤	元光
現場代理人	渡井	永治
主任技術者	渡井	永治



関東森林管理局長表彰

世附地区水源地域整備工事(H29ゼ口国)

代表取締役	後藤	元光
現場代理人	望月	春雄
主任技術者	渡辺	宏則

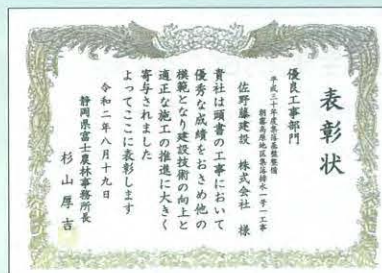


富士農林事務所 優良工事表彰

平成30年度集落基盤整備朝霧高原地区

集落排水1号1工事

代表取締役	後藤	元光
現場代理人	佐野	哲也
主任技術者	佐野	哲也



地成建設(株)

富士土木事務所 優良工事表彰

平成30年度(主)清水富士宮線
社会資本整備総合交付金
(県道道路改築・広域)工事
(尾崎バイパス2期工区・路改築工)

代表取締役 望月 敏雄
現場代理人 大澤 政孝
主任技術者 大澤 政孝



建設業労働災害防止協会 静岡県支部長表彰

功労賞 深澤 孝浩

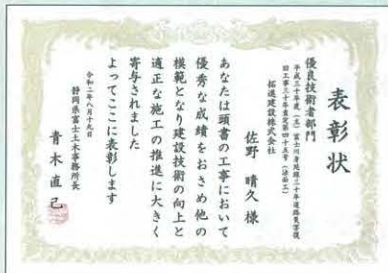


富士土木事務所 優良技術者表彰

平成30年度(主)富士川身延線30年道路
災害復旧工事30年査定第45号(法面工)

拓進建設(株)

代表取締役 佐野 裕康
現場代理人・主任技術者 佐野 晴久

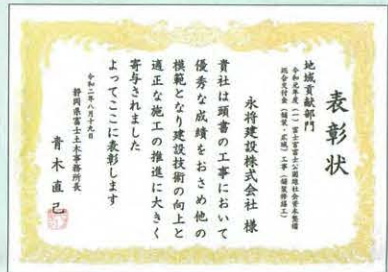


永将建設(株)

富士土木事務所 地域貢献表彰

令和元年度(一)富士宮富士公園線社会資本整備総合交付金
(舗装・広域)工事(舗裝修繕工)

代表取締役 永田 正二
現場代理人 永田 真一
主任技術者 永田 真一



富士宮市建設工事表彰 優良賞

平成30年度社会資本整備総合交付金事業2級市道
平山見返線改良工事その2

代表取締役 永田 正二
現場代理人 上原 秀隆
主任技術者 上原 秀隆



富士宮市建設工事表彰 優秀賞

平成30年度富士宮市公共下水道事業
弓沢川右岸4号幹線改修工事

(株)大石組

代表取締役 清 哲也
現場代理人 渡辺 道仁
主任技術者 渡辺 道仁



富士宮市建設工事表彰 優良賞

平成30年度富士宮市立柚野中学校ブロック塀改修工事

宮鉄建設(株)

代表取締役 遠藤 秋芳
現場代理人 若林 卓也
主任技術者 若林 卓也



静岡県交通基盤部点検・維持管理業務部門表彰

平成31年度(一)富士宮富士公園線ほか富士山マイカー
規制推進事業業務委託(富士山スカイライン1)

(株)井出恒組

代表取締役 増田 隆俊
現場代理人 増田 智昭
主任技術者 増田 智昭



富士宮建設業協同組合の1年の活動

令和2年

機密文書処理リサイクルシステムの活用

平成30年7月1日にコアレックス信栄株式会社さんと「廃棄機密書類の委託業務契約」を締結し、12社の組合員さんがリサイクルシステムの活用をスタートさせ、3年目の令和2年は4月と11月の2回活用し、合計74箱（740kg）の機密文書の処理を行いました。これからも、機密文書の



適切な処理とリサイクル活動を推進してまいります。

道路愛護

令和2年8月6日(木)

8月は、道路愛護月間となっており、毎年この行事に参加しています。

昨年同様に外神東公園付近の1級市道押出長穴線・粟倉外神線沿いの枝の伐採、路肩の草刈り、清掃等を市管理課、本組合員、近隣事業所、外神東及び外神区民の方が参加し、総勢25名により実施いたしました。

本組合員からは10名が参



加し、草刈りや街路樹等の剪定に汗を流しました。参加された組合員の皆様、本当に暑い中をご苦労様でした。

道路のパトロール業務

令和元年度の富士宮市道路点検維持補修業務の実績は、路面の穴埋め1038箇所、路面の剥離箇所補修3643箇所、側溝の清掃65箇所、側溝蓋の騒音防止等122枚、草刈除草・街路樹剪定39路線、カーブミラー修整50枚となっています。

これからも、市民の皆様



の大切な道路を安心・安全のために日々パトロールし、迅速な対応に努めてまいります。皆様からの情報もお待ちしています。

ゴルフコンペ開催

令和2年11月19日(木)

組合員の親睦を深めるため毎年恒例のゴルフコンペを、朝霧ジャンボリーゴルフクラブにおいて8名の参加により開催しました。結果は左記の通りです。

優勝：
林 吉彦
準優勝：
清 康彦



感謝状の受領

富士宮市神田川町の(株)丸進建設塩川進代表取締役は、令和2年1月28日、富士宮市の地域振興のために同市へ100万円を寄付しました。

同社は1968年に(故)塩川幸雄・信江夫妻が設立し、2018年に創業50年を迎えました。同日は、塩川進代表取締役と塩川有一取締役が須藤秀忠市長を訪れ、目録を手渡しました。塩川代表取締役は寄付の経緯について「父母が創業した当初は、母・信江が旧芝川町出身だったことから



町の人たちに良くしてもらった。令和2年は富士宮市・芝川町が合併10周年迎える節目の年。また、令和に変わり、50年目の恩返しをしたいと、社員皆で話し合った結果、寄付をしようとなった」と話し、須藤市長は「お父様はとても仕事熱心な方だった」と思い出を語りながら、「地域のために寄付してくれることに感謝します。皆さんの気持ちをしっかりと受け止め、大切に使用させていただきます」と感謝状を贈呈しました。

富士宮市上条の佐野藤建設(後藤元光代表取締役社長は、令和2年9月16日、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に役立てて頂く為、富士宮市に対して300万円の寄付を致しました。

同日は、後藤社長が同市役所を訪れ、須藤市長に寄付金を渡し、「今後、多数の患者が発生する時を想定し、最前線で治療に従事し

ている看護師さんや医師の苦勞を労う為、又、市民の安全・安心の為にお願い頂ければ」と述べました。須藤市長は後藤代表取締役社長に感謝状を贈呈し、「今回の寄付のみならず、富士宮市の為に様々な形で協力・支援を頂き大変ありがたい。ご厚意に感謝し、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の為に大切に使用させていただきます」と伝えました。



第56回清掃運動

令和2年4月19日(日)〜22日(水)に予定されていた「第56回清掃運動」は、新型コロナウイルスの発生したため中止となりました。

ボウリング大会

毎年8月に実施していましたが、中止いたしました。来年は開催できることを期待しています。

市防災訓練

令和2年9月1日(火)

これまで市当局と通信訓練等を行ってきました富士宮市総合防災訓練は、新型コロナウイルス感染症拡大防

止のため、中止となりました。



ホームページ
富士宮建設業協同組合
<https://fujinomiya-kensetsu.com/>
 E-mail: miya-ken.s48@leaf.ocn.ne.jp
 皆様からのアクセスをお待ちしております
 〒418-0005 富士宮市宮原470-5
 TEL.0544-27-5526
組合員を募集しています!!
 入会希望の方は上記迄。

重機土木工事一式・骨材販売 解体工事一式
株式会社 丸 芳
 代表取締役 佐野 裕 亮
 〒418-0047 静岡県富士宮市青木1186番地の1
 TEL (0544) 27-6048(代)
 FAX (0544) 27-8068

人と環境にやさしいものづくり
 各種アスファルト合材製造・販売 常温合材
 アスファルト乳剤 アスファルト廃材中間処理
株式会社 リサイクル芝川
 〒419-0315 静岡県富士宮市長貴551-1
 TEL (0544) 65-0850・FAX (0544) 65-1882

watanabe
株式会社 渡邊
 県知事許可(般-23)第21303号
 代表取締役 渡邊 智 司
 〒418-0022 静岡県富士宮市小泉1853-16
 TEL (0544) 24-5123・FAX (0544) 23-3715
<http://www.pro-watanabe.co.jp>

建設業界の現状について講演

令和2年11月10日

当組合員である(株)小松建設の木内政彦部長と小松奈央さんは、講師として県立富岳館高等学校(小野聡校長)に招かれ、工業テクノロジー系列建築2年生12人の生徒たちに建設業界の現状や未来について講話をし、生徒たちは有意義なひとときを過ごしたことでし

この講演は、将来生徒の皆さんが就職先として希望する場合、建設業界に対する学習意欲を向上させて、

今後の進路選択の一助けになればと講師に招かれ開催されたものです。講話内容は、▽建設業とは▽仕事の内容(技能者と技術者)▽関係法令の仕組み▽建設業の現状▽建設ICTについて。

この中で、木内部長は建設業の現状について、民間や政府の建設事業に対する投資額、許可業者や就業者の推移をグラフで示し、許可業者、就業者数とも建設投資額の減少に合わせて下降していることを説明しました。こうした中で、特に深刻

「現代の名工」全国表彰受賞



富士宮市下条の光建業(株)佐野義光代表取締役(67歳)は、卓越した技術を持つ人に贈られる「現代の名工」に選ばれ、11月9日(土)「リールガイヤルホテル東京」において表彰をされました。



な問題として提起されているのが、今後想定される高齢者層の大量離職で、10年後には大半が引退する時期を迎える。木内部長は「若年層の働き手確保と育成が課題となっていて、皆さんにとってはチャンス時期。10年後にはエースとしての活躍が期待される」と展望について語りました。

また、「けんせつ小町」でもある小松奈央さんは、これからの建設業について、設計・施工計画・施工・検査の一連の工程がさまざまな技術を組み合わせて行われ、

生産性向上や、ICT機器を活用した動きが活発化することを紹介しました。木内部長、小松奈央さんはメモを取りながら熱心に聞き入る生徒たちから、最後に「技術者に向いている人材とは」「高校生のうちに勉強しておかなければならないことは」などの質問を受けましたが、「仕事に向いているかどうかではなく、本人のやりたいう気持ちは大切」と高



校生のうちにコンピュータを用いた製図や手書きでのおくといい」などのアドバイスを送り、生徒たちも大きくうなずいていました。

「現代の名工」は厚生労働省が技能者の地位・技能水準の向上を目的に表彰しているもので、対象者は優れた技術を持ち、現役で活躍している人で、各都道府県から推薦された中からより優れた活動に取り組む人材を表彰しています。今回

は150人(県内で8人)が表彰対象となり、佐野代表取締役は建築部門の代表者として選ばれました。佐野代表取締役は1949年(昭和24年)に宇佐美建築へ大工見習いとして就職し、その後、渡会建築を経て68年に独立。主に市内の寺社仏閣、一般住宅、店舗などを手掛け、近年では富士宮市内の八幡宮や青木の安立寺、富士市の一乗寺子安堂などの建設に携わりました。また、これまでに市・県優秀技能者功労表彰を受けています。11月18日富士宮市役所を訪れ、須藤秀忠市長に全国表彰受賞の報告をいたしました。

報告で佐野代表取締役は「現役で頑張っているからこそ、現代の名工と言われると聞いた。おかげさまで健康で、今でも現場で足場

新入社員入社おめでとう

会社名：(株)三与建設
氏名：平野 広大

① この会社を選んだのは？ 営業という職に就きたくて探していた時に会社の求人票が目に入り企業見学に行った際、地元である富士宮市に貢献できること、地図に残せる仕事ができること、社長が宇宙工レベーターという未知の世界で仕事をしていることを聞き、会社に魅力を感じたからです。

② 現在の心境または、将来の夢 今はただ仕事を覚えることだと思えます。建設業の用語など難しいことが多く、覚えることで必死なので、色々なことを学び、将来、1日先、2日先まで何をやるかの計画を立てられるような人材になりたいです。

③ 趣味、好きなスポーツは？ 野球

富士宮建設業協同組合役員および組合員名

【役員】	
相談役	(株)森下建設 森下孝一
理事長	(株)小松建設 小松 實
副理事長	(株)大石組 清 哲也
理事	(株)河原崎建設(株)河原崎利光 河原崎利光
理事	(株)鈴木組 鈴木源士
理事	佐野藤建設(株)後藤元光
理事	(株)坪井組 坪井孝文
理事	(株)丸進建設 塩川 進
理事	(株)三与建設 三尾祐一
理事	(株)山本組 山本 篤
理事	(有)渡邊建設 渡邊定賢
監事	拓進建設(株)佐野裕康
監事	宮鉄建設(株)遠藤秋芳
組合員	(株)旭建設 石川哲也
組合員	(株)イシカワ 石川 亨
組合員	(株)井出恒組 増田隆俊
組合員	永将建設(株)永田正二
組合員	(株)大石組 清 哲也
組合員	(有)権工務店 佐野郁男
組合員	(株)加瀬澤組 加瀬澤 理
組合員	(株)川俣組 佐野 孝
組合員	河原崎建設(株)河原崎鉄平
組合員	(株)小松建設 小松 實
組合員	齊藤建設(株)齊藤宗一
組合員	佐野藤建設(株)後藤元光
組合員	(株)鈴木組 鈴木源士
組合員	(株)大栄建設 伊藤重治
組合員	拓進建設(株)佐野裕康
組合員	地成建設(株)望月敏雄
組合員	(有)坪井組 坪井孝文
組合員	(株)坪井土建 坪井多恵子
組合員	光建業(株)佐野義光
組合員	(株)丸進建設 塩川 進
組合員	(株)三与建設 三尾祐一
組合員	宮鉄建設(株)遠藤秋芳
組合員	無双建設(株)加藤史郎
組合員	明德建設(株)河西幸一
組合員	(株)森下建設 森下孝一
組合員	(株)山本組 山本 篤
組合員	(有)渡邊建設 渡邊定賢

編集後記

事業・広報委員会委員 (株)旭建設 石川 哲也

謹んで新春のお慶びを申し上げます。昨年は、新型コロナウイルス禍の対応のなか、組合員様におかれまして、公私ともに大変ご尽力いただいた年であったかと思えます。今年は昨年より益々のご発展と更なる飛躍の年になりますよう、祈念申し上げます。今年も広報紙「建設ふじのみや」の発行につきましてご多忙の折に寄稿頂いた皆様、広告記載にご協力いただいた協力業者様また組合員様には多方面に渡るご協力に厚くお礼申し上げます。昨年7月の集中豪雨では熊本県を中心とした九州地方をはじめ、各地域の被害状況を見て、もし富士宮でこのような被害が発生したらと考えると、心が穏やかに過ごすことが出来ません。富士宮建設業協同組合として、「信頼・協調・誠実」のなか、どのようなことが出来るのか考えさせられました。また、新型コロナウイルスによる東京オリンピックの延期、各行事の中止での混乱や緊急事態宣言により、工事の中止・工期の延期といった判断を取らなければならぬところもあつたと思えます。国内での流行が一旦抑えられても有効な治療方法が確立されるまで新型コロナウイルスと共存を模索していく必要があります。経済の正常化、異常気象への対応、感染対策等、様々な課題もありませんが、各組合員が丸と丸と協力し、皆様の発展に寄与できるよう頑張っていきたいと思っております。本年もよろしくお願いたします。